

学生が作った授業

1. 科学的な地域時代分析教育

- 一事象を様々な（学問的な）視点で考察するタイプ（D・E）
1、3、**5**、6、7、8、9、**15**、**16**、17、
20（班）

2. 科学的な概念探究教育

1. 複数の事象の比較を通して共通性を見出すタイプ（B・H）
4、**10**、12、**13**、**14**、**19**（班）

3. 政治的な社会構想教育

- 事例を根拠にして主張をつくるタイプ（C・F）
2、**11**、18（班）

※赤字は、イチオシに選んだタイプで授業を作成しなかったグループ

或時代分析教育

-
- 一事象を様々な（学問的な）視点で考察するタイプ
（D・E）
1、3、5、6、7、8、9、15、16、17、20（班）

なぜ議会制民主主義の政治体制で ナチズムが台頭したのか？

科学的な地域
時代分析教育



〈政権掌握までの流れ〉
1919 ワイマール憲法成立
1929 世界恐慌
1932 ナチ党第1党
1933 ヒトラー首相就任
→政権掌握



【政治】

- ・ワイマール憲法48条(1919)
- ・全権委任法(1933)
- 大統領に政治権力が集中する政治のしくみが形成
＝一党独裁体制の成立



【経済】

- ・WW1の賠償金問題による
ハイパーインフレ
- ・世界恐慌→失業者増加
→社会に不安が蔓延する
→ナチ党の政策が社会の心を掴む



【社会】

- ・プロパガンダ政策によるメディアの利用
- ・ユダヤ人の排斥によりドイツ国民としての優越意識の高まり
→市民の心を掴む

なぜ徳川幕府は討幕されたのか？ E7



115代将軍 徳川慶喜

〈略年表〉

- 1716年 享保の改革
- 1732年 享保の大飢饉
- 1782年 天明の大飢饉
- 1787年 寛政の改革
- 1830年 天保の改革
- 1833年 天保の大飢饉
- 1853年 黒船来航
- 1858年 日米修好通商条約
- 1866年 薩長同盟
- 1867年 大政奉還上表

【幕府】

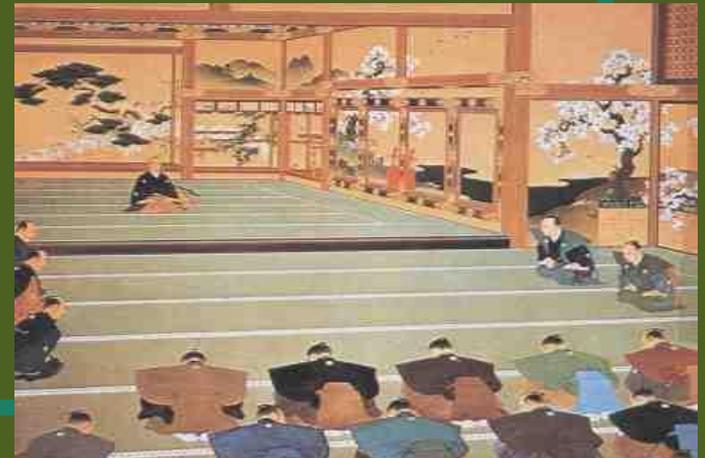
- ・ 将軍継嗣問題
次代の将軍をめぐる幕府内の対立→幕政混乱
- ・ 薩長同盟
幕府に反感を抱く藩同士の同盟→戊辰戦争の主力

【社会】

- ・ 飢饉にも関わらず年貢は納めなければならない
→一揆勃発
- ・ 長年にわたる幕政改革の失敗
享保・寛政・天保の改革→たいした効果見られず

【外交】

- ・ 黒船来航による開国
→欧米列強の日本進出
- ・ 日米修好通商条約
→日本の関税自主権なし
アメリカの領事裁判権認める



科学的な地域
時代分析教育

⇒大政奉還

9班



なぜヒトラーは、 ドイツ国民から支持されたのか？



ナチス**結成**から**解散**まで

1920年 ナチス結成

1922年 ミュンヘン一揆

1932年 ナチス、第一党になる

1933年 ヒトラー、首相に任命される

1934年 大統領権獲得 独裁体制を確立

1940年 三国同盟

1938年 ミュンヘン会談

1945年 ナチ党事実上の解散

政治

- ・ 選挙でナチ党が第一党に
- ・ 政府批判の集会・デモ禁止
- ・ プロパガンダによる国民意識の統一

経済

- ・ 公共事業の拡大
- ・ 価格統制でインフレ抑制

社会

- ・ 第一次世界大戦での大敗
- ・ 世界恐慌で失業者増加
- ・ 人種差別政策



江戸時代を終え、 日本はなぜ中央集権国家を 作ることができたのか？（明治初期）



- 1867 大政奉還
- 1868 五箇条の御誓文
- 1871 廃藩置県
- 1873 徴兵令
地租改正

①政治 武家社会から中央集権国家へ

1871 廃藩置県

江戸時代までの封建制の基となる藩を廃し府県に改める
→近代的中央集権国家の形成をめざす

②経済 “コメ”から“カネ”へ

1873 地租改正

土地の価格の3%を地主にお金で納めさせる：収入安定
↑
農民：負担増加

③外交 条約改正を目指して

1871 岩倉具視使節団

江戸時代末期に結んだ不平等条約の改正の予備交渉→失敗
+
米欧各国の近代的制度の調査・研究

④社会 四民平等・文明開化

1868 五箇条の御誓文

明治政府の基本方針。「士農工商」を廃し四民平等を唱え、西洋の文化を取り入れる社会へと変容していった。

Q,なぜソ連は崩壊へと向かったのか



1991年 ソ連崩壊

【ソ連崩壊の経緯】

- 1956 スターリン批判
- 1968 チェコスロバキア侵攻
- 1963 中ソ国境紛争
- 1986 チェルノブイリ原発事故
- 1989 ベルリンの壁崩壊
- 1991 ソ連崩壊(独立国家共同体の成立)

政治的視点



○スターリン批判
→方針の対立

○原発事故
→政府信用の
失墜

民族的視点



○度重なる独立運動
→体制の動揺

外交的視点



○中ソ対立
→東側陣営の崩壊

経済的視点



○五か年計画の限界
→工業重視
生活の困窮

○米との軍拡・宇宙開発競争
→経済の圧迫

なぜイギリスは産業革命に成功したのだろうか？



イギリスの植民地支配



18世紀後半～産業革命

産業革命の概要

- ・ 機械の発明(木綿工業)
- ・ 石炭の利用と蒸気機関
- 生産技術の革新
- エネルギーの変革
- ・ 社会全体の変動

【人口】 …労働力

- ・ 困い込み運動
- ・ 農業革命

↓

- ・ 労働者、漁労者の増加

【経済】 …貿易

- ・ 三角貿易
- ・ 綿花、砂糖、タバコ等の輸入(米→英)
- ・ 17c末イングランド銀行の設立

三角貿易

アメリカ ← 砂糖・綿花

イギリス

→ 繊維製品・ラム酒・武器

アフリカ

黒人奴隷

【思想】 …秩序・主義

- ・ プロテスタントの教義
- ・ 自由貿易主義の推進

Ex. アダム・スミス 『国富論』

応仁の乱がなぜ戦国時代のきっかけになったか



1467年 応仁の乱

<応仁の乱までの流れ>

○将軍の後継争い
日野富子勢力
vs
日野義視勢力

1467～77年
勃発→戦国時代に突入

[政治]...室町幕府の衰退

・幕府の弱体化により地方戦国大名の秩序が不安定になる。



・地方大名が武力での天下統一を目指すようになる

[文化]...地方文化の発展

・文化の中心である京都の荒廃



・京都の文化人が地方へ流出、文化の波及

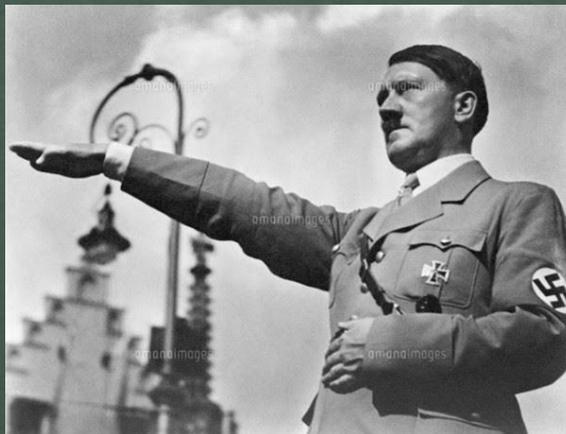


・地方大名の元で独自の戦国文化の創出

[社会]...下克上、一揆の風潮の広まり

・各地での一揆の頻発
・為政者に依らない武力での自治権の獲得の風潮が起こる

なぜ議会制民主主義の政治体制で ナチズムが台頭したのか？



〈政権掌握までの流れ〉
1919 ワイマール憲法成立
1929 世界恐慌
1932 ナチ党第1党
1933 ヒトラー首相就任
→政権掌握



【政治】

- ・ワイマール憲法48条(1919)
- ・全権委任法(1933)
- 大統領に政治権力が集中する政治のしくみが形成
＝一党独裁体制の成立



【経済】

- ・WW1の賠償金問題による
ハイパーインフレ
- ・世界恐慌→失業者増加
→社会に不安が蔓延する
→ナチ党の政策が社会の心を掴む



【社会】

- ・プロパガンダ政策によるメディアの利用
- ・ユダヤ人の排斥によりドイツ国民としての優越意識の高まり
→市民の心を掴む

なぜ徳川幕府は討幕されたのか？ E7



115代将軍 徳川慶喜

〈略年表〉

- 1716年 享保の改革
- 1732年 享保の大飢饉
- 1782年 天明の大飢饉
- 1787年 寛政の改革
- 1830年 天保の改革
- 1833年 天保の大飢饉
- 1853年 黒船来航
- 1858年 日米修好通商条約
- 1866年 薩長同盟
- 1867年 大政奉還上表

【幕府】

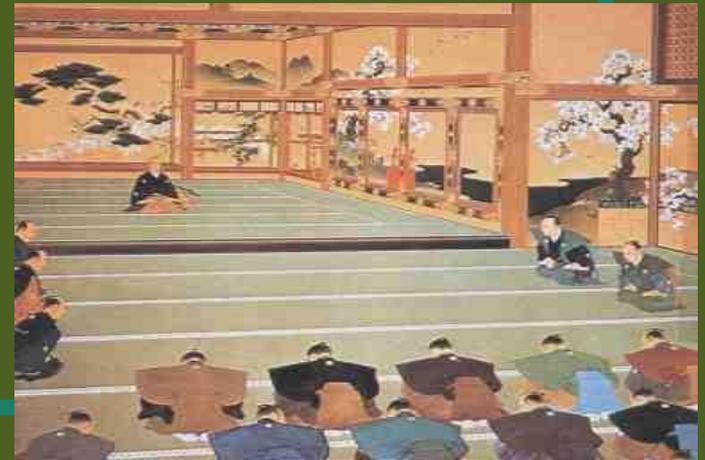
- ・ 将軍継嗣問題
次代の将軍をめぐる幕府内の対立→幕政混乱
- ・ 薩長同盟
幕府に反感を抱く藩同士の同盟→戊辰戦争の主力

【社会】

- ・ 飢饉にも関わらず年貢は納めなければならない
→一揆勃発
- ・ 長年にわたる幕政改革の失敗
享保・寛政・天保の改革→たいした効果見られず

【外交】

- ・ 黒船来航による開国
→欧米列強の日本進出
- ・ 日米修好通商条約
→日本の関税自主権なし
アメリカの領事裁判権認める



⇒大政奉還

何故フランス革命は起こったのか？

社会面

アンシャン=レジーム

第一身分...聖職者
第二身分...貴族
第三身分...平民

少数の第一身分と第二身分には広大な土地や免税などの特権。



多数の第三身分には参政権が認められず、税負担が大きかった

経済面

1. アメリカ独立戦争（1778年）等の戦争への投資

+

2. 1770年代の連続した飢饉の発生

+

3. 重い徴税や兵役

↓

第三身分は

経済的に非常に苦しい状態に

思想面

啓蒙思想の広まり

自由・平等・基本的人権など

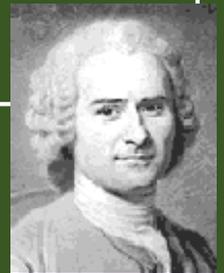
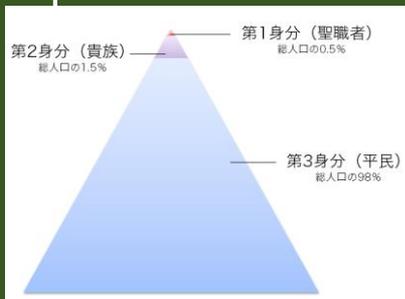


ルソーの社会契約説

国家の主権は人民にある。
特権の廃止、平等を唱える。

シェイエス

『第三身分とは何か』
第三身分の権利主張



ルソー (1712~78)

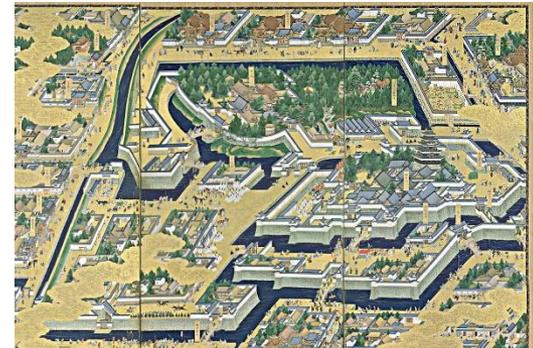
- ・ 民衆の不満の高まり
- ・ 三部会での特権身分への課税失敗 → フランス革命の勃発
- ・ 国民議会の結成

なぜ江戸幕府が約260年間持続したのか？

17班 Eタイプ

政治

- ・幕藩体制
 - 参勤交代で各藩の経済力を落とす
 - 反乱の防止
- ・監視体制
 - 武家諸法度
 - 大名同士の連帯を阻止
 - 反乱の防止



社会

- ・五人組
 - 連帯責任制を取り，幕府の基盤となる年貢を確実に納めさせる
- ・身分制度
 - 「士農工商」
 - 農民を武士の次に置くことで社会の大部分を占める農民の反乱を防ぐ

経済

- ・外国との貿易政策
 - 「鎖国」
 - キリスト教布教の阻止
 - 国内産業の発展を目指す

Q.三大改革の目標は何だったか？

〈地租改正〉

・1873年に行われた改革
→土地に税をかけ、毎年一定額を貨幣によって納める



〈徴兵令〉

・1873年に「徴兵令」が公布
→満20歳以上の男性に兵役を義務づける



〈学制〉

・1872年に「学制」が公布
→小学校への修学を義務化 (=義務教育のスタート)



Cf.)江戸時代までは...
米の収穫高に税をかけ、米で納める
△米の収穫高は年毎に異なる
→国家予算が組みにくい

当時の欧米諸国で行われていた徴兵制に倣う
「欧米列強に対抗できる強い軍隊を作りたい」

国民全員に基礎学力を与える
→国内言語の統一化

将来の徴兵を考えて、**日本国民全員が同じ言葉を使える状態に!**
△方言

富国

+

強兵

学制は徴兵のため!

三大改革とは、国家スローガンを体現したものだ

科学的な地域時代分析教育

1、3、5、6、7、8、15、16、17、20 (班)
一事象を様々な (学問的な) 視点で考察するタイプ

- どのような視点を用いるのが望ましいのか？
- 視点を用いると何が可能になるのか？

科学的な地域時代分析教育

社会の見方・考え方を働かせて、
事象を分析することができるようになる
⇒視点毎に事象の「なぜ」(要因)がわかる
(他所、過去をわかるための地理・歴史教育)

【改善の方策】

他所や過去などの別の事象についても科学的に
分析できる視点 (学問的な視点) を用いる

科学的な概念探求教育

4, 12, 13, 14 (班)

複数の事象の比較を通して共通性を見出すタイプ
－該当班の作品－

宗教はどのように政治に利用されてきたか？

Hタイプ 4班

○聖武天皇



国内の問題(724~749)

- ・反乱：長屋王の変,藤原広嗣の乱
- ・疫病：天然痘の流行

→国家の安定、

人心を落ち着かせる必要

仏教を利用

- ・国分寺建立
- ・東大寺盧舎那仏像の建立

○織田信長



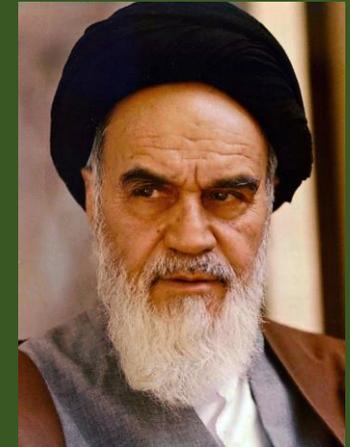
天下統一に向けて(1566~1582)

- ・仏教：独立武装勢力
- ・海外：交易や技術の獲得を求める

キリスト教を利用

- ・キリスト教公認
- ・積極的な保護政策

○ホメイニ



イラン革命(1979)

パフレヴィー朝

- ・アメリカ資本と結び、あらゆる面で西欧化
 - ・国民生活は向上せず
- 国民の反発が強まり革命へ

イスラム教を利用

- ・イスラム教シーア派への回帰
- ・厳格なイスラムの

生活規範を復活

宗教はどのように政治利用されたか？

・ 卑弥呼



神の意志を聞くことに長け、その**呪術的権威**を以て邪馬台国を治めた

支配の根拠として利用

・ 聖武天皇



疫病・飢饉・反乱など
社会的不安の高まり
Ex. 天然痘の流行
長屋王の変
藤原広嗣の乱...

741 国分寺建立の詔
743 大仏造立の詔

国家を安定させるため
に仏教を利用

・ 織田信長



・ 一向一揆（= 武装仏教勢力）との対立
・ キリスト教と結びついた**南蛮貿易**（交易品・武器・弾薬...）

キリスト教公認
交易・軍事のために
キリスト教を利用

世界の苗字制度はどのように・なぜ異なっているのか？

■ 夫婦同姓

(日本の例)



明治民法 (1898)

∴ 家制度, 儒教的性格

↓ 以降, 同氏制が存続

最高裁大法廷 (2015) 夫婦同姓は合憲

… 社会に定着・家族の呼称に意義 ⇒ 呼称を一つにする事の合理性



■ 夫婦別姓

(韓国の例)



古代の律令制より日本と同様の戸籍制度

↓

廃止 (2008) ∴ 血統主義に立脚した正当な理由のない制度



■ 新たな夫婦の形

(オーストラリアの例)



別姓、結合姓、同姓 + 同性婚のいずれも可能

⇒ 生物的な性別を超えた幸福追求を保証



(目的⑤) 失敗に終わった反乱

複数の事象の
比較

① 西南戦争

- ・江戸→明治期
- ・武士の特権はく奪
- ・新政府に不満



その後：自由民権運動へ

② 3・1独立運動

- ・世界大戦後
- ・帝国主義、武断政治
- ・統治政府(日本)に不満



その後：文化政治へ

③ スパルタクスの乱

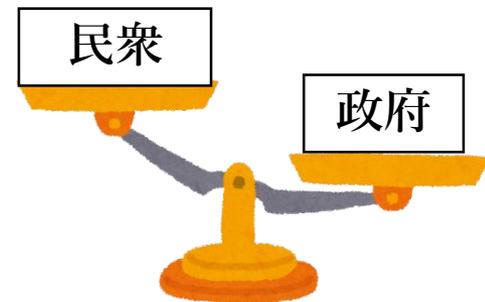
- ・古代ローマ期
- ・奴隷制
- ・ローマ政府に不満



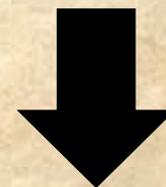
その後：コロヌス制へ

共通点

- ・背景[政府への権力過重]



- ・影響[政府の圧政が緩和]



失敗した反乱でも

- ・政治の方針
- ・民衆の意識改革

といった作用をもたらしうる

科学的な概念探求教育

4, 12, 13, 14 (班)

良い点と改善の方向性

(目的⑤) 失敗に終わった反乱

複数の事象の
比較

① 西南戦争

- ・江戸→明治期
- ・武士の特権はく奪
- ・新政府に不満



その後：自由民権運動へ

② 3・1独立運動

- ・世界大戦後
- ・帝国主義、武断政治
- ・統治政府(日本)に不満



その後：文化政治へ

③ スパルタクスの乱

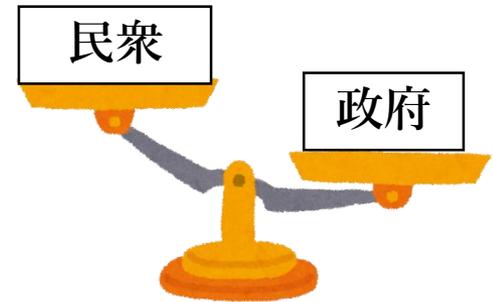
- ・古代ローマ期
- ・奴隷制
- ・ローマ政府に不満



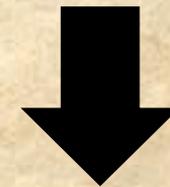
その後：コロヌス制へ

共通点

- ・背景[政府への権力過重]



- ・影響[政府の圧政が緩和]



失敗した反乱でも

- ・政治の方針
- ・民衆の意識改革

といった作用をもたらしうる

13班

【良い点】

- 「失敗に終わった反乱」といったなかなか目を付けないものに焦点を当てた
→コンテンツとしての価値
- 共通点を見出そうとしている
→「反乱の影響」
概念として出そうとした

13班

【改善の方向性】

「探求（究）」をするように授業を持っていく

→問いの設定

例) 「反乱は失敗したら意味はないのか？」

今回の答えは教訓ぽくなっている

13班

【改善の方向性】

今回は「影響」に注目したが、

「背景・要因」に注目すると問いの形は変わる
例) 「人はなぜ反乱を起こすのか？」

- ・ 西南戦争：新政府－旧幕府（旧藩）
 - ・ 3・1独立運動：植民地支配－被植民地支配
 - ・ スパルタクスの乱：主人－奴隷
- ⇒ 支配層－被支配層（→ 軋轢や格差）

※ 政治・経済面の方が扱いやすい

世界の苗字制度はどのように・なぜ異なっているのか？

■ 夫婦同姓

(日本の例)



明治民法 (1898)

∴ 家制度, 儒教的性格
↓ 以降, 同氏制が存続

最高裁大法廷 (2015) 夫婦同姓は合憲

… 社会に定着・家族の呼称に意義 ⇒ 呼称を一つにする事の合理性



■ 夫婦別姓

(韓国の例)



古代の律令制より日本と同様の戸籍制度

↓

廃止 (2008) ∴ 血統主義に立脚した正当な理由のない制度



■ 新たな夫婦の形

(オーストラリアの例)



別姓、結合姓、同姓 + 同性婚のいずれも可能
⇒ 生物的な性別を超えた幸福追求を保証



12班

【良い点】

- ・ 名字に注目

→基本的に誰にもある名前に焦点化：

身近に感じる

(名字の問題は近年の日本で議論されている)

- ・ 3つの事例をよく調べている

12班

【改善の方向性】

- 違いを出すだけ（概念は？）
 - ⇔名字の違いは分かりにくい
 - （国の中で統一されているか？）
 - 何を学ばせたいのか
- 同性や別姓の夫婦のあり方（家族制度）や、
社会のあり方に注目
 - 同性であろうが別姓であろうが夫婦のあり方に、
影響はないのでは
 - ヨーロッパの事実婚なども

まとめ

- ・ ただ事例を比較すればいいわけではない（事例＝手段）
→ 共通性を見つける

（現代社会に通ずるある一つの概念として）

- ・ 焦点化する内容や目標によって、
問いや扱う事例は異なる

⇒ 地域・時代を手段にして、社会の見方・考え方を捉える

政治的な社会構想教育

- 事例を根拠にして主張をつくるタイプ (C・F)
2、11、18 (班)

原子力発電を廃止するか否か (11班 Cタイプ)

政治的な
社会構想教育



フランス

エネルギー資源の大部分輸入に頼っていたが、オイルショックを契機に自国でのエネルギーを自給を進めた。



日本

東日本大震災以降、原子力発電による電気供給は減少傾向にある。
現在、環境問題の観点や安全面における観点から原子力発電を廃止するか否かの議論が起こっている。

根拠

主張

廃止反対

火力発電等では自国のエネルギーをまかないきれない。

廃止賛成

放射性廃棄物の処理や事故の危険性など安全面における問題が。

根拠

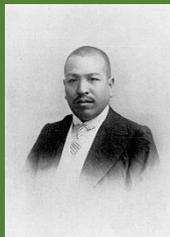


ドイツ

2011年東日本大震災を受け、改めて原子力発電の安全面における問題を重視し原子力発電全廃を進めている。
(あと4年で全廃予定)

自分がこの時代に生きてたら日露戦争の開戦に賛成か否か

主戦論 帝国大学七博士の意見書が主張



桂内閣の外交は軟弱であると批判
満州、朝鮮を失えば、日本の防御が危うくなる
→ロシアの満州からの完全撤退を唱えた

根拠

賛成派

ロシアの支配が広まると
朝鮮半島を手放さざるを得ないので、戦争をするべき

主張

国力ではロシアに負
けてる
日清戦争以降の国家
主義思想の広まり

根拠

反対派

国力の差などからわかる
ように分が悪いし、民衆
の被害も大きくなる可能性が高いから

反戦論 与謝野晶子、幸徳秋水ら



「君死ぬたもうことなかれ」
戦争はいつも政治家、資本家のために戦わ
れているにすぎない
→民衆による反対

環境と開発なら環境問題解決のほうが大事だ

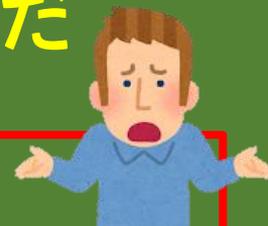


賛成

主張...地球規模の問題になっている
失われた自然は簡単に修復しない

事例

平均気温の上昇
CO2削減の義務付け（伊、日など）
生態系の破壊



反対

主張...途上国では環境より発展が大事
発展すればいずれ技術により環境問題は解決する
途上国は温暖化においてただの被害者

事例

インドネシアの開発格差拡大
CO2削減の義務付けなし（米、一部途上国など）

どっちのほうが優先されるべき？

事例を根拠にして主張をつくるタイプ

2、11、18 (班)

賛否を問う授業/ 判断させる授業

- 
- 事例に潜む判断基準や価値観をどこまで明確化できるか？
 - 地域・時代の文脈をどこまで活かせるか？

政治的な社会構想教育

地域・時代を手段にして、判断基準や行動力を育成する
未来社会をつくるための地理・歴史教育

判別が難しかった授業

14、19 (班)

税率が上がることで 日本はどのように変化するか。

日本では現在8%で、10%になることが決まっている。
スウェーデンではなんと25%である。

何でそんなに高いねん！

税率が上がれば国民の生活は苦しくなるのではないかな？

- ・ 学費無料（幼稚園-大学すべて）
- ・ CSN（スウェーデンの給付・貸与型奨学金）
- ・ 医療費無料（2017年時点で20歳以下・85歳以上）
- ・ 求職者、失業者支援
- ・ 住居手当
- ・ 子ども手当



主に教育・医療・就職面に使われている。

特に育児・教育に関する支援（子ども手当、学費無料、医療費無料）、就職に関する支援が手厚いのが特徴。



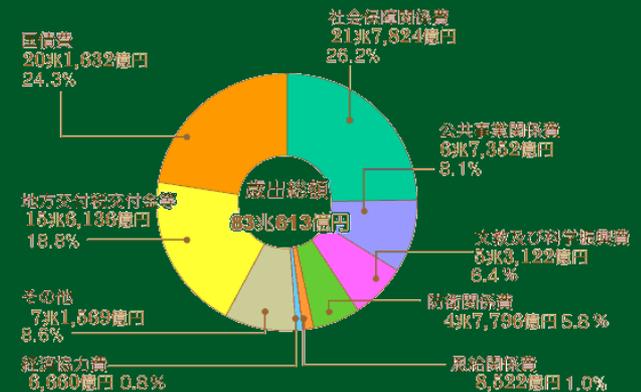
高負担だが高福祉である

日本はどうだろうか？
日本での税金の使われ方を考えてみよう

スウェーデンと日本の違い

	スウェーデン	日本
人口	959万人	1億2730万人
一人当たり 名目GDP	5万8491ドル	3万6331ドル
消費税率	25%	8%
国民負担率※1	58.9%	43.4%
平均寿命	81.7歳	83.1歳
高齢化率※2	19.7%	25.1%
子供と 暮らしている 高齢者の率※3	4%	44.1%
出生率(2014)	1.91%	1.42%
専業主婦率	2%	38%

※1 所得に対する税金と社会保障料の割合
※2 65歳以上の人口が全体に占める割合
※3 スウェーデンは67歳以上、日本は65歳以上



日本の工場立地にはどのような特徴が見られるだろうか？

◎ウェーバーの工業立地論

生産費が最小になる場所」に工場を建てるべきだ（ウェーバ：1909）

「教科書の記述の網羅（地理）」

市場指向型...大都市、消費地に立地
→清涼飲料水、ビール、印刷、出版、化粧品



図1.ビール工場の立地

原料指向型...原料の産地に工業が立地、製品に比べて重い原料
→鉄鋼業、セメント工業、金属工業、



図2.セメント工場の立地

立地の特徴
都市圏...消費地に近い、水は普遍的に存在する

立地の特徴
1) 北九州・山口...豊富な石灰石地形
2) 関東地区...市場に近い